

\* 注意 これは問題用紙です。解答用紙は別にあります。解答は必ず解答用紙に書きなさい。  
終了時間がきたら、解答用紙を裏返しにして室外へ出なさい。

〔問題一〕 次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

## 著作権の関係で問題文は掲載できません。

（山崎ナオコラ 『社会人とは何か？』）

問一、―― a s e の漢字は読み、カタカナは漢字に直しなさい。

問二、

I
II
III

にあてはまる接続詞を次から選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア それなのに

イ 要するに

ウ たとえば

エ そして

問三、―― ①「二のイメージ」はどのようなイメージか、答えなさい。

問四、―― ②「働き方の多様性……ではないか。」とはどういうことか、その説明として適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 会社では自分の得意なジャンルの仕事を率先して行うことを認めつつあること

イ 組織に所属しなくても、収入を得られる職業に就いていれば、社会人の枠に組み込まれること

ウ 会社という組織にとられず、自由に仕事をする働き方が受け入れられていること

エ 様々な働き方があり、会社ではそれらを全て認め、待遇が改善され始めたこと

問五、―― \* 「には同じ言葉が入る。それは何か。本文中から三字で抜き出して答えなさい。

問六、―― ③「お金のイメージも揺らいでいる。」とはどういうことか、その説明として適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 現代では目に見える形のお金ではなく、SNSでの評判など、形の無いものも含まれること

イ 現代ではお札や硬貨といったイメージが全く通用せず、お金以外のものしか使われなくなったこと。

ウ 現代では経済が発達し、簡単にお金が入るため、大切に扱うという考えが薄れつつあること

エ 現代では情報が発達し、お金に関連した事件も多く発生したため、不信任を抱く人が増加してきたこと

問七、―― ④「主婦の年収を……私は反対だ。」について、筆者はなぜ反対なのか、その理由を簡潔に答えなさい。

問八、―― ⑤「物差し」について、本文中での意味と合致するものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 基準

イ 定規

ウ 成績

エ 測量

問九、―― ⑥「おかしい」について、なぜおかしいと述べているのか。理由を説明している部分を本文中より抜き出し、最初と最後の四字をそれぞれ答えなさい。

〔問題二〕次の文章は、小学一年生の女の子（リエ）が、学校の庭に作られた田のイネを見る場面である。女の子は以前もイネを見ていた所を、同じくラスの仲のわるい男の子に注意されていた。この文章を読んで、後の問いに答えなさい。

## 著作権の関係で問題文は掲載できません。

〔北杜夫 『イネ』より〕

問一、—— a、eの漢字には読みに、カタカナは漢字に直しなさい。

問二、に入る季節を三す漢字一字を書きなさい。

問三、—— ①「人工」の対義語を書きなさい。

問四、—— ②「つい、しげしげと眺め、手をのびしかける」とあるが、女の子がそうした理由を、解答欄に合てはまる形で答えなさい。

問五、—— ③「こんなふうな色」とは何色か。本文中から五字で抜き出して答えなさい。

問六、—— ④「もったいぶっていった」時の、男の子の気持ちとして適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 米についての知識をひけらかす気持ち

イ 女にはどうせわかるはずがないという気持ち

ウ 泥棒を捕まえて満足した気持ち

エ カガク班であることを得意げに自慢する気持ち

問七、—— ⑤「いたずらに」のここの意味として適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア ふざけて

イ むだに

ウ てんてんと

エ さつぱりと

問八、—— ⑥「惜しいような気持」とあるが、これを表した一文を本文中から抜き出し、最初と最後の四字をそれぞれ答えなさい。（句読点を含む）

問九、—— ⑦「茫然」と同じ意味を表現した語を、本文中から五字で抜き出しなさい。

問十、—— ⑧「周囲がひどくしんとしたよう」であるが、これは女の子のどのような気分を表現したものか。適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 自分だけ興奮してしまって他はどうでもいい気分

イ もう下校時間なので早く家に帰りたいという気分

ウ 気にしていたイネがなくなり自分だけ残り残された気分

エ イネを勝手に刈りとられて腹立たしい気分

## 著作権の関係で問題文は掲載できません。

〔羽生善治『簡単に単純に考える』より〕

問一、—— a、b、cの部首名として適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア まだれ

イ のぎへん

ウ なべふた

エ もんがまえ

オ こんべん

カ しんによう

問二、—— ①の熟語の構成として適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 上の語と下の語が同じ意味の語

イ 上の語が下の語を修飾

ウ 上の語と下の語が逆の意味

エ 上の語が主語で下の語が述語

問三、—— ②・③の品詞をそれぞれ答えなさい。

ア 未然形

イ 連用形

ウ 終止形

エ 連体形

問四、—— ④・⑤の動詞の活用の種類をそれぞれ答えなさい。また本文中での活用形を次から選び、記号で答えなさい。